

議会改革推進会議「検討部会」会議録

令和6年1月18日

亀山市議会

議会改革推進会議「検討部会」会議録

- 1 開催日時 令和6年1月18日(木) 午後0時59分～午後1時39分
- 2 開催場所 第1・2・3委員会室
- 3 出席会員
部 会 長 福 沢 美由紀
副 部 会 長 新 秀 隆
部 会 員 櫻 木 善 仁 森 英 之 今 岡 翔 平
小 坂 直 親 櫻 井 清 蔵
会 長 森 美和子
副 会 長 伊 藤 彦太郎
- 4 欠席会員 なし
- 5 事務局 議会事務局長 渡 邊 靖 文 議事調査課長 大 泉 明 彦
書 記 新 山 さおり 書 記 山 北 康 仁
- 6 案 件
1. 第84回検討部会の確認事項について
2. 議会改革白書2024への掲載内容の確認について
3. 議題
(1) 子ども議会の実施について(検討課題47)
(2) 本条例の目的達成の検証について(検討課題31)
4. その他
- 7 経 過 次のとおり

午後0時59分 開 会

○部会長（福沢美由紀君） 皆さん、こんにちは。

議会改革推進会議第85回検討部会を開催いたします。

まず1つ目としては、前回、84回の検討部会の確認をいたしたいと思います。

第84回検討部会では、新たな議決項目が要るかどうかということで、皆さんにお調べいただいて決めました。議会改革のまとめについてということをしました。

資料1が示してもらってありますが、新山事務局員からご説明をいただくのかな。お願いします。

○議会事務局員（新山さおり君） それでは、資料1のほうをご覧ください。

こちらは、前回、第84回の検討部会で新たな議決項目の必要性についてということでまとめておくカルテでございます。これまでに何かほかの各種計画の中で新たに議決事件として追加をしていくものがないかということでご議論をいただいてきたわけですが、10月16日の検討部会におきまして、新たに議決事件として追加をする計画はないということで、今後は必要に応じて議論をしていくということをご確認いただいた上で、推進会議のほうでもご報告をいただき、確認をさせていただいております。

また、議会改革のまとめとしまして議会改革白書をまとめましたので、推進会議で確認をいただいております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 前回の確認ですので、特にございませんね。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） それでは、議題に移っていきたいと思います。

まず1つ目、子ども議会の実施について、これは検討課題47に当たります。

子ども議会の実施については、早ければ来年度の実施に向けて進めていきたいということから、これまでからも協議を進めてきているところです。

今回、県内のほかの市でも既に13市中7市が実施しており、また1市は来年度実施に向けて調整しているという状況です。

それでは、まず県内のその状況について調査したものをまとめましたので、事務局より説明をお願いします。

（発言する者あり）

○部会長（福沢美由紀君） 議会改革白書2024への掲載内容の確認についてで、資料2のほうを抜かしましたので、すみません、これについてご説明をお願いします。

○議会事務局員（新山さおり君） それでは、資料2のほうをご覧ください。

議会改革白書に掲載する各種委員会・会議の決定事項でございます。

令和5年11月17日に開催しました議会運営委員会において、特別職の委員会への出席については、市長、副市長と同様に、地域医療統括官は定例会の常任委員会には基本的には出席しないこととする。なお、委員会で質疑・質問がある場合は、市長等と同様に、その旨をあらかじめ伝えて委員会に出席するものとする。ただし、3月と9月の予算決算委員会の総括質疑には、市長、副市長と共に出席するものとするということをご確認いただいております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 失礼いたしました。

資料2については確認ですが、特に何もないですね。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） それでは戻りまして、子ども議会について検討していきたいと思っておりますので、県内の状況について説明をいただきたいと思っております。お願いします。

○議会事務局員（新山さおり君） それでは、資料3のほうをご覧いただきたいと思っております。

こちらは、県内の子ども議会の実施状況についてまとめたものでございます。

県内他市の13市のうち7市が現在実施をしております。

この色がついているところにつきましては、議会が主催で開催しておりますもので、あとは、色が塗っていないところにつきましては市が主催でしているもの、あとかつて1度だけ開催したものですとか、そういったものも含まれております。

では、ちょっと簡単に説明をさせていただきます。

まず、四日市市議会でございます。

こちらは高校生議会のほうを開催しております。

こちらは毎年1月下旬の土曜日に開催しております、議場のほうでしていただいております。

対象は、公立高校、私立高校など、市内の高校を対象としております。

方式としましては、議会、本会議ではなくて委員会方式でされています。3つの委員会に分かれまして、それぞれテーマについて協議をしていただきながら、最後、意見書をまとめていただき、議長のほうに提出をします。意見書の採決まで行っているということです。

当日の流れは、資料にございますので、後ほどまた参考に見ていただきたいと思っております。

続きまして、鈴鹿市でございます。

こちらは市のほうが主催で開催をしております、中学生議会在現開催しております。子ども家庭支援課が今主担当ということで担当しております、こちらは歴史も長く、平成18年度から実施をしております。現在、毎年8月に実施をしております、議場のほうで子ども議会は開催しております。

対象が、今、公立の小・中学校からということではしていただいておりますが、その小学校というのが、この歴史の中で子ども会議というのも開いておりますということで、対象にしたこともあるということで記載をしております。

子ども議会と子ども会議というのがありまして、最初は主権者教育の観点から教育委員会が主催で始められたと。子ども議会在3年に1回開催して、その間に子ども会議のほうを開催しています。子ども議会については、同じく本会議場で一般質問みたいな形式でされるんですが、子ども会議については、グループワークみたいな形でしてみえるということです。

あとは、またこちらもどのような流れでしてみえるか、当日の流れは資料のほうを参考にいただきたいと思っております。

続きまして、桑名市でございます。

桑名市は、まず市議会のほうが平成28年に1回だけ高校生議会在開催したということでございます。これは議会が主催です。これは、当時の議長のマニフェストといひますか、所信表明の中で行うということで、1回開催したのみになっておるとお聞きしております。あと、現在は総務課のほうが主催で中学生議会在開催しているということで、市内の中学校7校を対象に20人程度いつも集まっております。

こちらは市が主催ということで、市の予算100万円をいつも計上しまして、この使い道について生徒がアイデアを提案とか審議をされ、可決されましたら次の議会のときに執行部が提案、議長のほうに上程をしていただき、議決を経て、事業として採用されるということです。

続きまして、ちょっと2ページのほうをご覧くださいと思います。

こちらは志摩市議会、中学生議会を開催しております。

こちらでも毎年8月に開催をしております、議場のほうで公立中学校6校を対象に開催をしております。

こちらは、プロジェクトチームを設置して、議員さんが皆さん中心となり進めていただいておりますということで、リーダー1名、チーム員6名という形で子ども議会を実施しているということです。

令和4年に実施して、まだ2回実施したのみということで、子供たちの率直な意見を聞く場として、市としては意見を参考にしているということです。

続きまして、鳥羽市でございます。

こちらは、市がどうか、議会がどうか、ちょっとどちらかという学校からの依頼で、要望で1度だけ開催したということです。加茂小学校より、校長先生からご依頼があって、学校のほうで開催してほしいということで、議会のほうが協力して開催をしたということです。このときは、加茂小学校の6年生の皆さんが対象で、キャリア教育の一環として、子供たちが考えたテーマに沿って、賛成、反対に分かれて討議を行うという形の子ども議会を実施されたそうです。今現在、この加茂小学校以来、依頼はなくて開催はしていないということですが、今後何か要望があれば開催をしていきたいということでした。

時間はいつも1時間程度で、テーマについての協議ということになっております。

続きまして、伊勢市議会です。

こちらは高校生議会、毎年8月に開催をしております。議場のほうで、市内の県立高校と私立高校が対象となっております。

こちらにつきましては、高校生が議員役、市議会議員が市職員の役を担って、質問、答弁を行っているということでした。ですので、事前の準備ですとかやり取りもかなりするということはお聞きしております。

これまでに3回開催をしているということでした。

続きまして、熊野市議会でございます。

こちらは中学生議会を開催しております、毎年10月下旬に開催しておりますということです。

こちらは、市内の全部の中学校3年生を対象にしておるということで、一番大きな中学校のほうを1つとしまして、あと残りの中学校というくくりでちょうど50人ずつぐらいになるということで、2つに分けて子ども議会を開催しておりますということです。そのときに質問をされるのは、手挙げ方式というか、したいという子供さんたちになるそうで、大体4人から5人が質問をされて、一問一答で終わりますので、全部で時間は1時間以内ぐらいで終了するというものです。

それと、この実施しております市議会ですとか市のほうの子ども議会の資料のほうを参考としてタブレットの中に入れておりますので、もしよろしければ後ほどご覧くださいと思います。

また、伊賀市におきましては、現在、令和6年度以降に子ども議会を実施したいということで、それに向けて協議を進めておるということで、教育委員会に今年協力依頼のほうと説明をされたという

ことでした。ですので、現在、当市議会と同じようなペースで進んでおるのかと考えております。

こちらの資料については以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

県内の市についてご報告させていただきました。町でもいっぱいやっているんですけど、取りあえず市で聞いていただきました。

何か今の説明に対して確認したいことなどありますか。

いいですね。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） そうしましたら、次に、これをやるに当たりまして、教育委員会と打合せを進める中で、市内3つの中学校の校長先生に、子ども議会を実施する場合、学校としてのご意向やご意見について教育委員会のほうで確認いただきました。それも踏まえて、私と学校教育課と協議させていただきました。

それでは、子ども議会の実施案を作成しておりますので、これについても事務局より説明をお願いいたします。

○議会事務局員（新山さおり君） それでは、資料4のほうをご覧ください。

こちらは、先ほど部会長からもございましたように、教育委員会との協議を経て案のほうを作成いたしております。

では、まず目的についてでございます。

次世代を担う子供たちが行政や議会の仕組みを学ぶことで市政への関心と理解を深めるとともに、自らの意見を表明する機会を提供することで参画の意識を高める。子供たちの自由な発想や視点からの意見や提言を市政の参考とするということで、まず議会の仕組みを学んでいただきたい、知っていただきたい、身近に感じていただきたいという点と、あとは広聴の部分についての目的をこちらは上げてございます。

続きまして、開催日程でございます。

こちらにつきましては、教育委員会との打合せの中で、やはり事前の準備などもございますことから、8月の下旬に開催をしていただくのが一番いいのではないかとのご意向もいただきましたので、その中で執行部の日程なども確認しながら候補の日を上げさせていただいております。

令和6年8月27日の火曜日または28日の水曜日のうち1日、どちらかということ、午前中にリハーサルをしまして、午後に子ども議会を開催するというので、今現在、案として提案しております。

開催場所は、亀山市議会の議場ということになっております。

続きまして、対象者でございます。

市内中学校の3年生ということで、各学校6名としまして18名としております。

こちらにつきましては、これまでプロジェクトチームなどでもご議論もいただいております。思いますが、学習とのつながりを考えますと、まず公民的分野の勉強が中学校3年生の1学期に行われます。ですので、そちらと、あともし生徒会の活動などにも反映させていく、またそういったものもつなげていくということであれば、生徒会活動の中心を担っているのが中学校3年生ということですので、3年生がいいのではないかとということで、こちらとさせていただいております。

また、学校の事情に合わせて参加者については各学校で決定をしていただくということです。

あと、事前に保護者の承認が必要になるかと思うんですけれども、目的や活動内容、あとはその映像使用なども考えられますことから、承諾書をいただく必要があると考えております。

続きまして、2ページをご覧ください。

実施内容でございます。

大きな概要ですが、子ども議会全体としては1日で開催するという事で考えております。午前中にリハーサルを実施し、そうしますとちょっと昼食の時間が必要になりますので昼食の時間、そして午後から子ども議会ということで考えております。

時間としては全体として120分。といいますのは、子供たちの集中力ですとか、ふだんの日常生活の中でこの時間が最適ではないかというご意見もいただきましたので、こちらで設定をさせていただいております。

開会の挨拶から始まりまして、一般質問、質問、答弁ですね、こちらが各中学校30分の枠で3中学校で90分。その後、講評、閉会などがありますので、そちらを含めて120分という案を設定しました。

質問内容についてなんですけれども、こちらは子供たちからどうしても提案をしてしまいますと、学校分野、教育分野のことに限られてきたりとか、分野が狭くなってしまうのではないかとということで、多岐にわたるような幅広い分野のテーマ設定があったほうが子供たちの学びにもつながるということで、テーマ設定は議会のほうでご検討いただくといいのではないかとこのところではいただいております。

あと、議長につきましては、子ども議会の議長は代表となった18名の中から選出してはどうかということで、こちらで選出するという事で提案をしております。

続きまして、進め方でございます。

スケジュールですが、まず来年度ですね、令和6年度に学校の体制のほうを整うかと思うんですけれども、その後、ゴールデンウィーク明けぐらいに開催のご案内を配布させていただき、また5月下旬ぐらいまでに各学校のほうで参加者を決定していただくことによって、6月中旬までにテーマを決定して各学校へご案内をしておれば、その後、子供たちの授業ですとか勉強会など、いろんなところで進めていただけるということでございます。7月から8月にかけては中体連などもございまして、そちらの部活動のほうの活動にも力をどうしても入れさせてあげたいという思いが学校のほうにもございますので、そちらのほうと調整をしていただきながら随時学校のほうで進めていただく、もしくはこちらのほうが必要なものがあればご用意するという形で今は考えております。そして、お盆休みがありますので、それが終わってから8月19日の週に各学校で最終的な準備をしていただいて、子ども議会を実施するという流れで考えております。

このスケジュールについては、今は案でございますので、学校や生徒の負担とならないようなスケジュールで進めていくということと、あとは学習につなげるために、公民の授業の中で勉強された中で、自分たちが住んでいるまち、亀山市のその仕組みですとか市議会の仕組みというのを学んでいただく機会とするのであればということと、あと主権者教育の観点から、必要に応じて議会からそういった仕組みの分かるような資料ですとか映像を提供するほか、例えばですけれども、議員が出向いてゲストティーチャーとして議会の仕組みを学ぶ機会を検討するなど、これは今後検討部会でご議論い

ただ内容になってくるかと思えます。あと、具体的な事前準備の内容ですとか勉強の内容についても、教育委員会と協議をしながら議会のほうから示していくということでございます。

次のページですね、その他になりますけれども、議会報告番組で例えば特集をいたしまして放送する、またあと議会だよりに掲載する、あとホームページで紹介するといったことが考えられますので、承諾を得た上でご参加いただくことが必要になるかと考えます。

また、インターネット配信を行う場合なんですけれども、そういったことも考えられるんですが、学校のほうからは、できればライブ配信ではなく、ダイジェストですとか、録画の配信ですとか、違う形で検討をさせていただければというご意向は聞いております。

それから、令和6年度に実施した後、今後毎年実施していくのか。例えば、何年かに1回実施していくのか。あとは、子ども会議などを鈴鹿市さんはしておるんですけれども、そういった形で議会ではなく子供たちと意見交換をするような場ですね、ファシリテーターさんを使って率直な意見を聞く場ですとか、そういった意見表明の場をつくっていくのかなど、そういった今後のこともこの検討部会でご議論をいただきたいと考えております。

本日はこの案をお示しはしましたけれども、2月1日に学校のほうで来年度の調整会議ですね、学校の行事を決めていく会議がございます。そこで子ども議会の日程をお示しできればと考えておりますので、本日は日程のほうと開催場所について検討部会としても確認をいただければと考えております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） かなり詳しいというか長い説明がありましたけれども、これに関して何か確認とかご意見がありましたら順次発言をお願いいたします。

一応、前のPTで出した案をお示した後、校長先生方にお話を聞いて、やっぱりこのほうがいいと違うのみたいなお話を事務局で持ってきていただいた上で、総じてこれはそうだねということで、これはお互いが意見が合ったところで資料を作ってもらった感じなんです。具体的に入りますと、またどんどんというんなことが変わってくると思いますけど、大枠としてという意味で説明をいただいたんですけれども、いかがですか。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） それじゃあ、これをやっていくという方向ですので進めてはまいりますが、とにかく今年度中にしておかなければいけないのは日を決めるということであるんですが、この日程的にはここで決めるわけじゃないもんね。どうさせてもらいましょう。

お願いします。

○議事調査課長（大泉明彦君） この場で案というふうな形の中で一度ご確認をいただいて、やはり最終的には推進会議というふうな形にはなろうかと思いますが、今、資料4の中では27日と28日の案を示させていただいてございますので、本日、これのどちらかというところまでは進めていただきたいと思えます。

○部会長（福沢美由紀君） そうですね。ありがとうございます。

多分、これは9月の定例会が金曜日から始まる。その定例会が始まる開会日の数日前というイメージなんですけど、火曜日がいいのか、水曜日がいいのかということで、ちょっと案として何かもしご意見がありましたら。

今岡委員。

○部会員（今岡翔平君） もし皆さんがよければ、むしろ2つ日を残しておいて、どちらかではやるよみたいな感じで、何かの別の要素が出てきたときにどっちにも振れるようにしておくのはどうかかなと思ったんですけど。

○部会長（福沢美由紀君） 多分、これも教育委員会側として決めてほしいというようなご意向が何かあったように思いますね。

特に、どうでしょうね、事務的にも問題、どっちであっても問題ないですかね。

小坂委員。

○部会員（小坂直親君） 早い日に決めておけばいいんじゃない。片っぱを予備日にしておけばいい。

○部会長（福沢美由紀君） そういう形でいいですかね。特にこうやないとあかんというようなご意見はないもんね。

（「ないです」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 分かりました。そうしたら、もう8月27日ということで、この部会の案ということでしたと思います。

学校側のご意向として、議案なんかもやったらどうかという話もあったような気もするし、議会っていろんな形があるわけですけども、とにかくテーマを決めるのが、どうやって言っていったらいいかわからないということで、皆さんのタブレットにもいろんな今回すごいいっぱい資料が入っていますけれども、どんなふうな、常任委員会別にもいろんなテーマというかテーマになりそうなものがあると思うんですけど、どんな資料を学校側にお示しするのかとか、そういうことを詰めていかんならんのですね、この議会側で。それを私、部会長としましても、全体でそれを一回一回こうやって開いてやっておってはなかなか進んでいきませんもんで、以前のようにプロジェクトチームをちょっとしていただいて、詰めながら諮るみたいなことをさせていただけるといいかなと思うんですけど、皆さん、それについてはご意見どうですか。

学校へ出向いていってお話をするとか、そういうこともどんなふうにするとか、結構具体的に決めていかんらんことが出てくると思うんですね。

（「プロジェクトチーム、4人ぐらいとか」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） 三、四人はちょっとしていただきながらだとありがたいと思うんですけど、いかがですかね。一回一回開くと、回数が制限されてきますし。

PT方式を取りながら進めていくということについては、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○部会長（福沢美由紀君） そんな感じで、じゃあ。

そうしたら、どなたになっていただくか、ちょっとそこまで私、今日そんなに決めるつもりはございませんでしたけれども、また。もし今ここでやろうかと言っていただく方がいたら、ありがたいですし。

お手を挙げていただくとありがたいですが、どうですか。

（挙手する者あり）

○部会長（福沢美由紀君） ありがとうございます。

では、櫻木部会員と今岡部会員と森部会員で入っていただくということで、ちょっと資料をいっばいやっぱり探したりとか詰めたりとかせんらんとします。ぜひとも、部会長も入りますし、また

議長などにも相談しながらさせてもらいますけれども、じゃあそういう方式でやらせていただくという事で。

ありがとうございます、ご理解いただきました。

それでしたら、この件に関してはここまでとさせていただきます、次の事項……。

渡邊局長。

○**議会事務局長（渡邊靖文君）** 日程の件ですが、先ほど一応第1候補、8月27日と決めていただきましたので、本来なら推進会議ということなんですが、明日全協がございますので、全協のその他の項で会長の議長のほうから、まずは27、皆さんの予定をちょっと空けておいていただかんとあきませんもんで、ちょっとその旨を議長のほうから報告させていただこうかと思えます。

○**部会長（福沢美由紀君）** 分かりました。

これ、議会をするとすると、答弁側も全部調整していただいていることなので、本当に大事に日を取っていただかんとあかんということですので、じゃあ明日よろしくお願ひします。

○**部会員（櫻井清蔵君）** 答弁は議員がするの。

○**部会長（福沢美由紀君）** 違いますがな。答弁はちゃんと理事者側にさせていただくように、こちら議会からお願いをしているということですので、議長からもお願いいただいておりますので、よろしくお願ひします。

この件に関してはいいですか。

（発言する者なし）

○**部会長（福沢美由紀君）** それでは、次の項目に移りたいと思えます。

本条例の目的達成の検証についてということは、令和4年に条例の検証を行って、その際にコロナの感染拡大、SDGsの取組、自治体DXなどによる社会情勢の変化によって条例全体としての見直しが必要ではないかという課題が出てまいりました。

その中で、1点目は災害や感染症等の危機管理の対応について、2点目は障がい者への合理的配慮について、この大きく2つの視点から再度条例全体を見直していくという、優先順位的なものですけどね、あるということで検討課題となっております。

本日は、この視点から他市の条例がどんなふうに表示されているかということ資料にまとめましたので、事務局より説明お願ひいたします。

新山グループリーダー。

○**議会事務局員（新山さおり君）** それでは、資料6のほうをご覧ください。

こちらは、議会基本条例におけます災害や感染症等の危機管理の対応に関する規定について、現時点で把握している市議会の規定のほうをまとめたものでございます。これも様々な規定の仕方がございまして、武蔵野市議会をはじめ、2ページ目まで記載をさせていただきました。

こちらは、もうそれぞれ市議会の考え方ですとか規定の仕方があるかと思えますので、今回、こちらの資料のほうを参考にさせていただきながら、フォルダーのほうにさらに議会基本条例について、災害の関係と、あと後から説明させていただきます障がい者の関係とフォルダーを作っておりまして、そちらのほうの条例のほうを具体に見ていただけるようにしてございますので、そちらも併せて参考にさせていただきたいと考えております。

この資料の中に示しております中では、議長が別に定めるということで、例えば小千谷市議会です

とか甲府市議会、特に後半のほうに、2ページ目のほうにあります市議会さんにつきましては、別に定めるところがございます。こちらは、災害行動マニュアルですとかBCPですね、そういった災害の対応計画などを別に定めておる市議会になるかと思うんですけれども、このような規定の仕方もあるかと思えますし、あと章立てをして危機管理のその対応、大規模災害の対応ということで項目を設けておる基本条例もございますので、これについては一度他市議会の基本条例をさらに研究しまして、どのような規定がいいかというご議論をまた会派のほうでも進めていただきながら、また改選までに見直しが必要であればしていきたいと考えております。

当市議会につきましても、その災害や感染症に対する申合せのほうがございますので、そういったものも活用していくのか、その辺の規定もしていくのかということでご議論をいただければと考えております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 続いて合理的配慮のほうもご説明願えますか。

新山グループリーダー。

○議会事務局員（新山さおり君） では、資料7のほうになりますが、ご覧ください。

こちらは障がい者の合理的配慮に関する規定でございます。

こちらは、なかなか具体的に記載をされておる市議会が少なく、今3つの市議会を上げております。

近いところで松阪市議会さんのほうが開かれた議会への環境整備ということで記載をされておまして、逐条解説のほうに、こういった障がい者への配慮がされるような、誰もが、多様性もありますので、そういった誰にでも開かれた議会ということで、そういった環境整備に努めなければならないという記載がございました。

あとは小千谷市議会と秦野市議会のほうにございましたので、このような規定も例としてございます。

こちらは、さらにちょっと全国的にたくさんあるかと思えますので、もう少し事務局のほうでも調べて、今後またお示しをしていければと考えております。以上でございます。

○部会長（福沢美由紀君） 説明いただきました。

もし今のことに対して確認ありましたら、発言をお願いします。

いいですかね。

（発言する者なし）

○部会長（福沢美由紀君） 取りあえず、その全てを見た上でいいものを出してきたというのではなくて、取りあえず見つかるものを上げてもらっていますので、さらに部会のほうでも調査が必要かなと思うんですけれども、今後、この議会基本条例に、この2つの視点から議会基本条例の見直し、どうやって書き込んでいくのかということも含めて議論していくことになると思います。

本日の資料と会議システムに保存してあります他市議会の議会基本条例も参考にいただきながら、どうやって、改正するのかわからないのか、するのならどのようにするのか、会派にも持ち帰っていただいて調査・ご議論いただきたいと思えます。無会派の方については、事務局から説明してご意見を伺ってまいります。

そういうことで、ちょっと一旦示して、持ち帰っていただいて議論いただくということにしたいと思うんですけれど、それでいいですか。

次のときまでに何か少しでも、完璧にということじゃなくても、これはなかなか文言整理も大変だ

と思いますし、いいところをいっぱいちょっと調べて探していただくという作業もしていただかん
らんとしますので、ぜひお願いをいたします。

この件に関してはそれでいいですか、議会基本条例についてね。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） 地震もありましたので、ぜひ我が事として本当に真剣にやっていきたい
と思います。

次に、その他の項です。

次の開催日ですが、2月の下旬に開催したいと考えております。

日程、どうですかね。皆さんにちょっと調べさせてもらったら、例えば2月13日か、2月15日
はどうでしょうか。

13日の教民がちょっと結構盛りだくさんなので、どんなスケジュール感になるのか、ちょっとど
うかなというので、2月15日の午後やで1時、午前は議運がありますでな、午後1時ということで
設定させてもらってもいいでしょうか。

(「大丈夫」の声あり)

○部会長（福沢美由紀君） すみません。よろしく申し上げます。

それでは、そのようにさせていただきます。

本日の案件は以上となりますが、ほかに何かございませんでしょうか。

大泉課長。

○議事調査課長（大泉明彦君） 大変恐れ入ります。

15日ということで、日がまたずうっと狭まってきた中、14日は次年度の新年度予算の説明とい
うことで、大変タイトなスケジュールになってまいります。

先ほど部会長からお言葉ありましたですけれども、資料のほう、タブレットのほうに入れてござい
ますもので、大変恐縮ですけれども、そちらのほうのご確認等々、改めてお願いさせていただきたい
と思います。どうぞよろしく願いいたします。

○部会長（福沢美由紀君） ようけ入れてもろうてあります。これの中から決めるとか、そんなんじ
ゃないので、新たに調べてもらうことも含めてよろしく願いいたします。

それでは、ほかにごございませんか。

(発言する者なし)

○部会長（福沢美由紀君） なければ、以上で議会改革推進会議検討部会を閉会したいと思います。
ありがとうございました。

午後1時39分 閉会

この会議録は正当であることを認め、ここに署名する。

令和 6 年 1 月 18 日

議会改革推進会議検討部会長 福 沢 美由紀